

障害とセクシュアリティ

～当事者が受けいれること・社会が共にいるとわかること

2015.5.31(日)14:30-17:00

@ 仙台市福祉プラザ 第2研修室



ゲスト：歌川泰司さん

1966年 東京生まれ。漫画家。ゲイカップルの日常を描いた漫画ブログ「みみゲイです。ほぼ夫婦です」が人気を博し、2010年「じりラブ（集英社刊）」で漫画家デビュー。40代の新人漫画家として世間から失笑を浴びるが、けっこう売れたので、ほくそ笑んだ。代表作は「母さんがどんなに僕を嫌いでも（カドカワ刊）」。
漫画ブログ「みみゲイです。ほぼ夫婦です」

<http://ameblo.jp/qm080952/>

入場無料・カンパ歓迎

問い合わせ、参加申し込みは、

☆THC 支えあう学習会

thc00sasaeau-study@yahoo.co.jp

☆条例の会仙台

jyoureisendai@gmail.com

14:00 開場

14:30 開演

セクシュアリティについてのミニ講座

14:45 歌川泰司さんお話

15:30 差別の内面化について当事者発表

15:50 休憩

16:00 ディスカッション

共催：東北HIVコミュニケーションズ（THC）

誰もが暮らしやすいまちづくりをすすめる仙台連絡協議会（愛称：条例の会 仙台）

- ◆ 協力：みやぎいのちと人権リソースセンター、一般社団法人プレスみやぎ
- ◆ 助成：LUSH ジャパンチャリティ基金

障害や多様なセクシュアリティに対しては、無理解と偏見がまだまだ存在する現実があります。この差別とも呼ばれることで、社会はあたかも健常者や異性愛者のみで成り立っているかのように錯覚し、障害者や多様な性の当事者たちが見えなくされている。とりわけ、震災時などの緊急時にはなおさら、いないものとされがちです。このような状況は、当事者の心の中にも入り込みます。居場所を失い、こんな自分は価値がないと思込まされてしまう場合もあります。

障害とセクシュアリティは異なる概念ですが、個人が受ける心理的・社会的な制約やこれらからくる生き辛さに共通するところはたくさんあります。5月17日は IDAHO～国際反同性愛嫌悪デー (International Day Against Homophobia) といって、同性愛がいかなる場合も精神疾患でないとされたのを記念する日で、日本でも「多様な性に YES!の日」として記念日登録もされています。

ゲストの歌川泰司さんは、その作品の中で、様々な背景で擦り込んでしまった自己嫌悪と自己肯定に至るまでの曲折、困難にあった時の支えあい、関係の中で成長してゆくこと、など等身大のゲイ・ひとの経験を描いてきておられます。

共にこれらの課題を考えて下さる方、様々な方の参加をお待ちしています。



～国連・障害者権利条約批准～

誰もが暮らしやすいまちづくりを すすめる仙台連絡協議会 (愛称：条例の会仙台)

障がいのある市民もない市民も、共に暮らしやすい福祉のまちづくりを
すすめるために活動しています

《事務局》

〒982-0011 宮城県仙台市太白区長町1丁目6-1 (CIL たすけっと内
担当: 杉山裕信)

〔電話〕 022-248-6054 〔FAX〕 022-738-9501

〔Mail〕 jyoureisendai@gmail.com

〔ブログ〕 <http://blog.canpan.info/jyourei>

東北HIVコミュニケーションズ (THC)

HIV感染症/エイズによって自らの生命や生き方に影響を受けた人々が共に生きる社会をつくる



連絡先：〒983-0836 仙台市宮城野区幸町4丁目7-2 みやぎいのちと人権リソースセンター内
FAX：022-298-8532 E-mail： thc@silk.plala.or.jp HP： <http://www16.plala.or.jp/thc/>

◆支え合う学習会企画ボランティア・THC 会員募集中

プロジェクトボランティア, 継続ボランティア, 活動会員などで活動できます。

会員は会を支える存在。

支援会員A (年会費 12,000 円議決権有) と支援会員B (年会費 6,000 円) があります。

詳しくはメール下さい! thc00sasaeau-study@yahoo.co.jp

◆よりそいホットライン

0120-279-226

365日24時間、どんな人のどんな悩みも、
一緒に解決する方法を考えます

◆THCエイズ電話相談

022-766-8699

毎週土曜 (お盆・年末年始を除く)
午後6時～9時